



広報

くにもと

Dec 2023

No. 84

【編集・発行】国本地区づくり振興会

歩け歩け大会 in 川越

10月29日

【場所】埼玉県川越市
【主催】国本地区スポーツ協会
【参加人数】参加者62名・関係者7名

久々にバスツアーで歩け歩け大会まちあるきを実施しました。目的地は川越です。

朝8時に国本地区市民センターを出発。出発して暫くは生憎の雨でしたが、栃木県を抜ける頃には前

方は青空、川越は私たちが歓迎してくれるかのようでした。

まず、喜多院に到着、仙波東照宮・三芳野神社、それぞれの地で、地元ボランティアガイドさんの説明を聞き、川越氷川神社でお参りをし、菓子屋横丁・蔵造りの街並みを自由散策。小江戸川越のシンボリック存在の「時の鐘」などいたる所に文化財や史跡があり、名物のサツマイモに舌鼓、あっという間に小江戸川越の1日が終わりました。沢山の方にご参加いただき、ありがとうございました。



国本地区スポーツ協会
小江戸川越まちあるき
喜多院慈恵堂



仙波東照宮にて



蔵造りの街並み



時の鐘

国本地区夏まつり

9月9日 16:00 - 19:00

【場所】ろまんちっく村
あおぞら館テント前
【主催】国本地区づくり振興会
地域文化・資源保全部会

国本地区の魅力ある歴史や文化などをPRするとともに、子どもたちに昔ながらの「くじ」や「遊び」を体験する機会を作り、次世代とのふれあいの場を提供することを目的に、ろまんちっく村のイベント（花火イリュージョン）とコラボし、4年ぶりに「国本地区夏まつり」を開催しました。



歴史・文化のPRテントでは、悟理道の神輿を真ん中に据え、国本地区に4つある宇都宮市民遺産のPRを中心に、ビデオ放映やパネル展示などを行いました。

もう一つのテントの内外は、無料抽選会や子ども対象のくじ、昔あそび（けん玉やベーゴマ、水ヨーヨー）で終始賑わい、地域のきずなや来場者との交流を深めることができました。特に、KLC（国本中学校の有志によるボランティアグループ）約30名が一生懸命運営に携わり、このイベントを大いに盛り上げてくれました。

（注：この文章は上記の「もう一つのテント」の文脈で読み取れるため、ここに再掲し、内容を補完しています。）
また、このイベントでは、地域のきずなや来場者との交流を深めることができました。特に、KLC（国本中学校の有志によるボランティアグループ）約30名が一生懸命運営に携わり、このイベントを大いに盛り上げてくれました。

国本地区防災訓練

9月24日 9:00 - 12:00

【場所】国本地区市民センター
【主催】国本地区防災会
【参加者】自治会・各種団体
避難所運営ボランティア
国本地区住民
【参加人数】140名

国本地区防災訓練が、西消防署宝木分署・中央警察署警備課・消防団国本分団・婦人防火クラブ等の協力のもと令和元年以来4年ぶりに実施されました。

内容は、宝木分署による防災DVD視聴と防災講話の後、参加者は2班に分かれ、水消火器を使用した消火訓

練、煙体験、土のう作り、防災資器材の確認、非常食の試食、また、AEDの使い方や止血と骨折の応急手当などを行いました。

この救急・救護訓練は特に関心が高く、大人だけでなく育成会の子どもたちも物おじせず次々と体験し、予定終了時間が大幅に遅れましたが、大変有意義な訓練となりました。

災害は、いつどこで自分たちの身の回りに起きうるかわかりません。「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えをもち日頃から災害に備えておくことが重要であると再認識した一日でした。



国本の歴史と文化

第七話 「悟理道の歴史」②

“悟理道用水路開削と水神社の石祠”

悟理道の土地は宝木台地上にあり、寛文10年（1670）の入植以来農耕に必要な「水」が無く、稲作ができず畑作中心で大変な苦勞を重ねてきました。

大正時代に入り水田を開くための用水路を、徳次郎村の上金井及び下金井の「金井用水路」から分岐する開削計画が立てられました。

第1期の開削工事が大正3年（1914）の秋から始まり3年の歳月を経て大正6年（1917）10月に完成しました。更に水を求めて第2



期工事を大正8年（1919）5月から、また第3期工事を大正14年（1939）からと3期にわたる大工事が行われました。

この事業により悟理道の農地は水田へと変わり稲作ができるようになり、現在の水田風景が作られたのです。

村人は悲願であった「水」への感謝の気持ちを子々孫々まで伝えるため「水神社」（祭神：川神かわのかみのみたま）大正6年10月16日と刻まれた石祠が、現在の悟理道公民館の敷地に祀られました。

石祠にはご苦勞された先人達の功績を称え、背面に5名・台座後面に7名・台座左右に18名のご芳名が刻まれております。

（次回は、悟理道の歴史③を予定しています。）

令和5年12月

宇都宮市文化財調査員 川村泰一



工事に関わった悟理道の人達の記念写真（大正時代）

龍福登美子氏が優勝 県老人クラブの「輪投げ大会」で!

10/11

〔場所〕 県総合運動公園多目的広場
〔主催〕 栃木県老人クラブ連合会
〔参加者〕 55チーム 選手数275名

国本地区長寿会連合会では、会員の健康維持のために軽スポーツを推奨していますが、野沢町長寿会が輪投げ部門で市老人クラブ主催大会で団体9位となり、推薦され栃木県主催の大会に出場しました。

野沢町長寿会では、宮内貞夫監督のもと、西園逸雄氏、大房春美氏、藤野テル氏、龍福克康氏、龍福登美子氏の5名が大会に参加しました。そして個人の部においては、龍福登美子氏が見事個人総合1位に輝き、団体でも野沢町長寿会が総合8位を獲得しました。

常日頃の練習が実を結び、全会員のお手本となる快挙に心より喜びのエールを送りたいと思います。この輝かしい成果に、国本地区長寿会連合会一同はまた来年の大会に向けて、新たな意気込みを湧き立たせています。



〔第77回 栃木県芸術祭美術展〕

〔期日〕 令和5年10月28日㊥～11月7日㊤
〔場所〕 栃木県総合文化センターギャラリー

— 写真部門 —

◆ 芸術奨励賞

角田 久氏 (悟理道)
「馬主の気配愛」

◆ 入選

横山 千恵子氏 (悟理道)
江面 庸夫氏 (野沢)
手塚 孝氏 (野沢西)

「第77回 栃木県芸術祭美術展」(主催：栃木県文化協会、栃木県及び栃木県立美術館) 写真部門において4名の方々が顕彰されました。

栃木県芸術祭は、戦後まもない昭和22年、「多彩な芸術文化を通して、県民に明るく朗らかでうるおいのある生活をもたらしたい」との願いから始まりました。東京、大阪に次いで全国で3番目に古い歴史を持つ、伝統ある文化行事であり県内最大規模の文化の祭典となっています。

今年度、写真部門では311点の応募があり、その中から入賞13点の中に角田氏の「馬主の気配愛」の作品が選ばれました。入選は147点でした。

誠にありがとうございます。ここに角田氏の作品を紹介いたします。



「馬主の気配愛」

国本地区データ



総世帯数 **6,393**世帯

総人口 **15,007**人

〔男 7,454人 女 7,553人〕

(令和5年11月末日現在)

編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。
年齢・経験は問いません。

【問合せ】 国本地区市民センター TEL.665-2942

【編集・発行】 国本地区づくり振興会

〒320-0075 宇都宮市宝木本町1868番地1 (国本地区市民センター内) TEL 665-2942 FAX 665-7225

住めば
愉快だ
宇都宮